

2007 年度

科目名 英米文学演習 1	対象学科・学年 文学部英米 3 回生	担当者 北川 文雄
授業テーマ フラナリー・オコナーの短編小説研究		
授業の概要と目標 フラナリー・オコナーは 2 つの短編集と 2 つの長編を遺して 1964 年、不治の病によって 39 歳の若さで生涯を終えたが、近年高い文学的評価を獲得するに至っている。日本でもノーベル賞作家大江健三郎が『人生の親戚』やエッセイ集の中でオコナーを取り上げたことは記憶に新しい。オコナー文学の特徴は習俗（manners）を通して生の秘義（mystery）を暗示していることであろう。物質文明が根本的な見直しを迫られている今日、超越的な世界を探求する文学を学ぶことは大きな意義を有すると言えよう。 オコナーの文学を核にして、アメリカ南部文学、アメリカ文化、西欧文明、現代世界の問題点等について考えてゆきたい。授業ではオコナーの代表的な短編やエッセイを幾編かを読む。同時に作者と作品の背景を知るための基礎的な作業も行う。		
評価方法 出席状況、授業での発表活動、レポート等を総合的に評価する。		
テキスト Greenleaf and Revelation	著者 Flannery O'Connor	出版社 鷹書房弓プレス
参考書 随時プリントを配布	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 イントロダクション 2 Greenleaf 読解 1 3 Greenleaf 読解 2 4 Greenleaf 読解 3 5 Greenleaf 読解 4 6 Greenleaf に関する英文論文検討 1 7 Greenleaf に関する英文論文検討 2 8 Greenleaf に関する英文論文検討 3 9 Revelation 読解 1 10 Revelation 読解 2 11 Revelation 読解 3 12 Revelation 読解 4 13 Revelation に関する英文論文検討 1 14 Revelation に関する英文論文検討 2 15 Revelation に関する英文論文検討 3		